

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	1 2 7 6 4 3 3
施設名（園名等）	江戸川めぐみ幼稚園

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

当園では毎年音楽会を開催しており、楽器の種類や数も豊富にある環境にあります。全学年のクラスを対象として、専門講師のアドバイスを受けながら、園児たちが、楽器を鳴らす場所や音を聴かせ合うなど、主体的に音楽に興味を持っています。園児たち同士で楽器を選び演奏する際には、いろいろな音に触れてとても楽しそうに、興味深く演奏している園児の姿が見られます。年間を通して自らが音楽に取り組み、楽器を題材とする「音」を今回のテーマとして設定します。

4月（生活音を聞く）

- ・幼稚園からどんな音が聞こえてくるか興味をもたせる。自然の音の音色、強弱を自らの感覚で表現する。

5月（音楽を動物に例える）

- ・音楽を聴いてリズムに合わせて身体を動かしたり、蜂、蝶、象、パンダ、恐竜等の動物になりきってみる。

6月（音の高低を調べる）

- ・太鼓を使ってどんな音がでるか、低い音、高い音を体験する。

7月（音を聴いて表現する。）

- ・スカーフなどの道具を用いながら、音楽を聴いてリズムに合わせて体を動かしたり、動物になりきってみる。

9月

- ・小太鼓の裏側のスネアをのぞいたり、鼓笛の楽器を使って遊んでみる。

10月（本物の楽器を演奏する）

- ・園児が自ら選び、叩いたりしてどんな音がするか、お友達の音も聴いてみる。

11月（音の強弱によっての違いを知る）

- ・歌の中に楽器を使い、好きなリズムを叩いてみる。

12月（音を聴いて合わせる）

- ・専門講師の助言を取り入れ、音楽に合わせて演奏し、合わせる。

1月（音楽会）

- ・練習した楽器を使い保護者の前で発表する。

2月（手作り楽器）

- ・ペットボトルや缶等の身近にあるものを使って、音の違いを体験する。

## 2. 活動スケジュール

## 3. 探究活動の実践

### <活動の内容>

（道具）

タンバリン、トライアングル、すず、カスタネット、シンバル、ウッドブロック、中太鼓、桶小太鼓、ハンドベル他

（環境設定）

- ・周囲の音をきき、静かな環境できこえたこと、感じたことを話し合った。
- ・音の出る楽器を作ろう、演奏しよう。
- ・さまざまな楽器を用意し、好きな楽器で演奏できるようにした。

（活動中の子供の姿・声・子供同士や教諭との関わり）

- ・周囲の音をきき、音の違いを教諭に伝えにきてくれる園児がいた。
- ・楽器を手になると、嬉しそうに楽器を鳴らし、他の園児の楽器の音を聴き、「なんで音が違うの？」と音や音色の違いに気付いていた。
- ・太鼓を叩き、「音をきいてみてどう？」と問いかけると、「ドンドン」「大きい音」叩く場所によって、「大きさが違う」「高さが違う」という答えが返ってきた。
- ・バチを使って太鼓を叩く、リズムを叩くときは集中して、声を出しながら叩く様子がみられた。



#### 4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

音楽専門講師のアドバイスを受けながら、楽器を前に「自分もやってみたい」の声がきけ、演奏している間に音の違いに気づき、そのことをお友達と話したり、「どこが良い音なのか」探っていた。しっかりと自分以外の音も聴き、強弱や、速さに気を付けていた。集中して音を聴こうとしている時には、静かに見守り感じていることを尊重していけるようにした。曲に合わせて楽器を演奏し、音楽会では皆で合わせたことで楽しさが増していたようだった。

音楽会後もいろいろな楽器に触れ合い、「音」に関する豊かな経験を積む機会を増やしていくことが大切だと思った。